

ホスピタル・プレイ・スペシャリスト
シンポジウム
病児・障害児への
専門的な遊び支援を考えよう

～すべての子どものために、すべては子どものために～

日時

平成24年2月11日(土)
9:30～16:30【開場】9:00～

場所

静岡県立大学短期大学部 講堂及び食堂
【参加費】:無料(どなたでもご参加頂けます)

静岡県立大学短期大学部では、平成21年度より文部科学省「大学教育推進プログラム」として「体系的なホスピタル・プレイ・スペシャリスト(HPS)養成教育プログラムの開発」に取り組んでいます。HPSとは、病児や障害児とその家族を対象に、入院前から退院までのあらゆるプロセスにおいて、子どもの感じる苦痛やストレス、不安などを遊び(Play)の力を用いて軽減し、医療との関わりを肯定化できるよう支援する専門職です。

事業最終年度となる今年度は、養成教育モデル開発、効果的教授法モデル開発、小児医療モデル開発の3つのモデル開発の成果を統合し、初級から上級に至るHPS養成教育の根幹となるプログラムの開発を目指しています。本学HPS養成講座修了生は現在までに73名に上り、徐々にではありますが、日本の小児医療においてホスピタル・プレイ活動が浸透しつつあります。

そこで、本シンポジウムでは、これまでの本学事業成果をご報告するとともに、今後のホスピタル・プレイ活動の進展に向けた内容を取り上げていきたいと考えております。

多くの皆さまのご来場を、お待ちしております。

【プログラム】本学講堂にて

【受付】9:00～9:30

開会挨拶 木苗 直秀 (静岡県立大学短期大学部 学長)

教育 GP 基調報告 松平 千佳 (教育GP運営実行委員長／静岡県立大学短期大学部 准教授)

講演Ⅰ Caroline Fawcett (Poole general Hospital, Poole Hospital NHS Foundation Trust, Dorset/ Hospital Play Specialist, Team Manager)

講演Ⅱ 笠間 浩幸 (同志社女子大学教授/International Play Association (子どもの遊ぶ権利のための国際協会)日本支部副代表・ワールド評議員)

ランチョン・セッション -ホスピタルプレイ活動の実際- (軽食を取り囲みながらのセッションを予定しています。)

静岡県立総合病院・静岡済生会総合病院・あいち小児保健医療総合センター (その他)

【午後の部】13:30～16:30

シンポジウム「子どもにやさしい療養環境を実現するために」

(パネラー) 村上 勝美 (静岡県立こども病院・HPS)

河本 鈴代 (大阪発達総合療育センター・HPS)

大矢 佳代 (総合病院聖隷浜松病院・HPS)

まとめ 江原 勝幸 (静岡県立大学短期大学部 准教授)

閉会挨拶 田中丸 治宣 (静岡県立大学短期大学部 部長)

- 主 催 静岡県立大学短期大学部
- 後 催 静岡県／地方独立行政法人 静岡県立病院機構／
社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会／
社会福祉法人 静岡市社会福祉協議会

● アクセスマップ

〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿2-2-1

■JR静岡駅北口8番バス乗場から、美和大谷線(東大谷方面行)または小鹿線に乗り、小鹿局前または競輪場入口で下車、徒歩2～3分

■JR静岡駅南口バス乗場から、みなみ線(曲金/済生会病院経由)に乗り、小鹿局前で下車、徒歩2～3分

※公共交通手段をご利用ください。

🍀 お申込方法&連絡先

お申込書は、ホームページにて入手可能です。

< http://bambi.u-shizuoka-ken.ac.jp/hps_site/index.html >

※なお、事前申込なしでの当日参加もお受けしております。

<連絡先>

静岡県立大学短期大学部 HPS事務局

hps-japan@u-shizuoka-ken.ac.jp

TEL&FAX: 054-202-2652

